

# REMIX STATION RMX-500



## http://pioneerdj.com/support/

上記のPioneer DJサポートサイトでは、困ったときのよくある質問やソフトウェアの情報など、より快適に製品をお使い いただくための各種情報やサービスを提供しております。







# もくじ

## 本書の見かた

このたびは、パイオニア製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
 この冊子と、本機に付属している「取扱説明書(基礎編)」を必ずお読みください。両方とも、この製品の使用前にご理解いただくべき重要事項が含まれています。

本書では、製品本体に表示されているチャンネル名、ボタン名、およびソフトウェア上のメニュー名などを、[]で囲んで記載しています。(例:[MASTER]チャンネル、[ON/OFF]、[File]メニュー)

## 🛈 はじめに

本機の特長	.З
ソフトウェアをインストールする	. З
入力 / 出力端子に接続する	. 6
本機を起動し準備する	. 9
本機とコンピューターを接続する	. 9
設定ユーティリティについて	. 9

## 🔮 操作する

BPM を設定する	10
RHYTHM FX セクション	11
SCENE FX セクション	12
RELEASE FX セクション	13
音声信号の経路を切り換える	13
エフェクトのパラメーターをカスタマイズする	13
アップデート機能を使う	13
RMX-500 Plug-in を使う	13

## 03 その他

故障かな?と思ったら	
保証とアフターサービス	
商標および登録商標について	
著作権についてのご注意	
免責事項	

# はじめに

## 本機の特長

本機は、3 つのエフェクトセクションで構成された DJ 用 REMIX STATION です。

RHYTHM FX や SCENE FX で新たに採用した [PRESSURE] コント ローラーは、従来の回転操作に加え、押し込む力の強さでエフェクト効 果に変化をつけることができます。

さらに、内蔵エフェクトの種類を切り換えることで、これまでにない直 観的な操作で個性あふれる DJ リミックスパフォーマンスを実現します。 プラグインソフトウェア「RMX-500 Plug-in」では楽曲制作用アプリ ケーション上で本機の動作を再現できます。また、本機をコンピュー ターに接続することで、コントローラーとして DJ プレイ時と同じ感覚 で楽曲制作に使えます。

## RHYTHM FX

演奏中の楽曲をカットアップしたり、内蔵音源を追加することで新しい リズムを作り出せます。

エフェクトや内蔵ドラム音源を用いて、さまざまなバリエーションのリ ズムをループ再生できます。

## SCENE FX

演奏中の楽曲を強調したり、任意の箇所にブレイクを作ることで、楽曲 に新しい展開を生み出せます。 エフェクトとエコーの組み合わせで、独自の演出を実現できます。

## RELEASE FX

エフェクト音と再生中のトラックをスムーズにつなげられます。

## QUANTIZE

リアルタイムにトラックのビート位置を解析し、エフェクトや発音タイ ミングを自動で調整します。ラフな操作でも、トラックのテンポとずれ ることなく演奏できます。

## RMX-500 Plug-in

コンピューター上で本機の機能を起動できる VST/AU/RTAS Plug-inを提供いたします。RMX-500本体はコントローラーとしてお 使いいただけます。

## SOUND CARD

本機は「サウンドカード / USB オーディオインターフェース」を搭載 しています。

## ソフトウェアをインストールする

## ソフトウェア使用許諾契約書

このソフトウェア使用許諾契約書(以下「本契約」といいます)は、お 客様とパイオニア株式会社(以下「当社」といいます)との間における、 DJ機器用ソフトウェア(以下「本ソフトウェア」といいます)の使用 に関する事項を定めるものです。

本ソフトウェアをインストールし、あるいはご利用になるにあたって は、必ず以下の条項をよくお読み下さい。お客様が本ソフトウェアをご 利用になった場合は、本契約に同意されたものとします。もし本契約に 同意されない場合には、本ソフトウェアのインストール及びご利用をお やめ下さい。

#### (使用許諾)

本契約の内容に従うことを条件として、お客様は、本ソフトウェアを一 台のパーソナル・コンピュータ又は携帯端末にインストールして使用す ることができます。

#### (制限事項)

お客様は、本ソフトウェアの複製物を作成しあるいは配布し、または ネットワークを通じあるいは一台のコンピュータから別のコンピュー タに送信してはなりません。また、お客様は、本ソフトウェアの改変、 販売、貸与、譲渡、転売、本ソフトウェアの二次的著作物の頒布又は作 成等をすることはできず、さらに、逆コンパイル、リバース・エンジニ アリング、逆アセンブルし、その他、人間の覚知可能な形態に変更する こともできません。

#### (著作権等)

本ソフトウェアに関する著作権その他一切の知的財産権は、当社あるい はその関連会社に帰属します。本ソフトウェアは、著作権法及び国際条 約の規定により保護されています。

#### (保証及び技術サポートの否認)

本ソフトウェア及びそれに付随する一切の資料等は、あくまで「現状の まま」提供されます。当社は、お客様や第三者に対して、これらの商品 性、特定目的への適合性、他人の権利を侵害しないこと、その他一切の 事項について保証せず、また、これらに対する技術サポートを行うこと 等も保証しません。なお、国や地域によっては強行法規によってかかる 保証の否認が認められないことがありますので、その場合には、かかる 保証の否認は適用されないことがあります。また、お客様の権利は、国 や地域によっても異なり得ます。

#### (責任制限)

当社、その他本ソフトウェアの供給者は、お客様が本ソフトウェア及 びこれに付随する一切の資料を使用したこと又は使用できなかったこ とから生じる一切の損害(利益の逸失、ビジネスの中断、情報の消失・ 毀損などによる損害を含みますが、これらに限定されません)に関して は、たとえ当社が、そのような損害が生じる可能性を知らされていた場 合であったとしても、一切責任を負いません。国や地域によっては強行 法規によって付随的又は間接損害に対する責任の制限が認められない ことがありますので、その場合には、かかる責任制限は適用されないこ とがあります。なお、いかなる場合においても、本ソフトウェアに関す る当社またはその子会社の責任は、お客様が当社またはその子会社に対 して支払った金額を超えないものとします。かかる保証の否認や責任制 限は、お客様と当社との間の取り決めにおける基本的な要素です。

#### (輸出規制法令の遵守)

お客様は、アメリカ合衆国の法令及び本ソフトウェアを取得された国の 法令が認めている場合を除き、本ソフトウェアを使用または輸出もしく は再輸出することはできません。また、本ソフトウェアを、次のいずれ の者に対しても、輸出または再輸出することはできません。 (a) アメリカ合衆国の通商禁止国

(b) アメリカ合衆国財務省の禁止顧客リスト (Specially Designated Nationals List) 上の一切の者、及びアメリカ合衆国商務省の禁止顧客 リスト (Denied Person's List or Entity List) 上の一切の者 お客様は、本ソフトウェアを使用することにより、上記 (a) に該当する 国に居住しておらず、また、上記(b)のリストに掲載されていたいこ とを表明および保証するものとします。また、お客様は、本ソフトウェ アをアメリカ合衆国の法令にて禁止されるいかなる目的(核兵器、ミサ イル、化学兵器、または細菌兵器を含みますが、これに限定されませ ん)にも使用しないことに同意されたものとします。

#### ( 準拠法 )

本契約は、日本国の法令に準拠し、これに基づいて解釈されるものとします。本契約は、本ソフトウェアの使用について、お客様と当社の取り 決めのすべてを記載するものであり、本件に関する従前のあらゆる合意 (それが口頭でなされたか文書によりなされたかを問いません)に優先 して適用されます。本契約に関連して紛争が生じた場合は、東京地方裁 判所を第一審の専属管轄裁判所とします。

## ドライバソフトウェアをインストールする

本ドライバソフトウェアは、コンピューターからの音声を入力 / 出力 するための専用ドライバソフトウェアです。本機を Windows または Mac OS がインストールされているコンピューターに接続してお使い になるときは、あらかじめコンピューターにドライバソフトウェアをイ ンストールしてください。

## ドライバソフトウェアの最新情報を確認する

最新版のドライバソフトウェア情報は、下記の Pioneer DJ サポート サイトを参照してください。 http://pioneerdj.com/support/

## 

- ドライバソフトウェアをインストールする前に、本機の電源スイッ チを切り、本機とコンピューターを接続している USB ケーブルを 取り外してください。
- ドライバソフトウェアをコンピューターにインストールしないで 本機をコンピューターに接続すると、お客様の環境によってはコン ピューターにエラーが発生することがあります。
- ドライバソフトウェアのインストールを途中で中止したときは、以下の手順に沿ってはじめからインストールをやり直してください。
- 本機の専用ドライバソフトウェアをインストールする前に、「ソフトウェア使用許諾契約書」をよくお読みください。
- ドライバソフトウェアをインストールする前に、コンピューター上 で他に作業中のプログラムがあれば、すべて終了させてください。
- ドライバソフトウェアは以下の OS に対応しています。

対応 OS		
Mac OS X 10.6 / 10.7 / 10.8		0
Windows <sup>®</sup> Q (Windows <sup>®</sup> Q Dra		0
Wildows 6/ Wildows 6 PIU	64 ビット版	0
Windows <sup>®</sup> 7 Home Promium/Professional/Ultimate	32 ビット版	0
	64 ビット版	0
Windows Vista <sup>®</sup> Home Basic/Home Premium/ 32		0
Business/Ultimate	64 ビット版	0

1 台のコンピューターに RMX-500 を複数台接続したときは、動作を保証できません。

## 

ドライバソフトウェアをインストールする前に「インストールについてのご注意」をよくお読みください。

ドライバソフトウェアをインストール、アンインストールするには、コンピューターの管理者権限が必要です。コンピューターの管理者に設定されているユーザーでログオンしてからインストールしてください。

1 Pioneer DJ サポートサイトで [RMX-500] の [ソフト ウェアダウンロード] をクリックする

2 [ドライバソフトウェア]をクリックする

3 ダウンロードページの中から Windows 用のドライバソ フトウェア (RMX-500\_X.XXX.exe) をダウンロードする

**4 ダウンロードしたファイルをダブルクリックする** ドライバのインストール画面が表示されます。

## 5 言語選択画面が表示されたら、[日本語]を選んでから [OK] をクリックする

 お客様のコンピューターの環境によっては、複数の言語から表示言 語を選べます。

## 6「ソフトウェア使用許諾契約書」をよく読み、「ソフト ウェア使用許諾契約書」に同意するときは、[同意する]に チェックを入れてから[OK]をクリックする

「ソフトウェア使用許諾契約書」に同意いただけないときは、[**キャンセ** ル]をクリックして、インストールを中止してください。

## 7 画面の指示に従ってインストールする

インストールの途中で [Windows セキュリティ ] 画面が表示されるこ とがありますが、[このドライバソフトウェアをインストールします] をクリックしてインストールを続行してください。

インストールプログラムが終了すると終了メッセージが表示されます。

## 

ドライバソフトウェアをインストールする前に「インストールについて のご注意」をよくお読みください。

ドライバソフトウェアをインストール、アンインストールするには、コンピューターの管理者権限が必要です。コンピューターの管理者の「名前」と「パスワード」をあらかじめご用意ください。

## 1 Pioneer DJ サポートサイトで [RMX-500] の [ソフト ウェアダウンロード] をクリックする

## 2 [ドライバソフトウェア]をクリックする

## 3 ダウンロードページの中から Mac OS 用のドライバソ フトウェア (RMX-500\_M\_X.X.X.dmg) をダウンロードする

4 ダウンロードしたファイルをダブルクリックする [RMX-500\_AudioDriver]のメニュー画面が表示されます。

5 [RMX-500\_AudioDriver.pkg] をダブルクリックする ドライバのインストール画面が表示されます。

6 画面の内容を確認して[続ける]をクリックする

7 使用許諾契約画面が表示されたら、「ソフトウェア使用許 諾契約書」をよく読み、[続行する]をクリックする

## 8「ソフトウェア使用許諾契約書」に同意するときは、[同意する]をクリックする

「ソフトウェア使用許諾契約書」に同意いただけないときは、[**同意しな** い]をクリックして、インストールを中止してください。

## 9 画面の指示に従ってインストールする

インストールを途中で中止するときは[キャンセル]をクリックしてください。

# RMX-500 Plug-in をインストールする

本ソフトウェアは、RMX-500の持っている機能を、楽曲制作アプリ ケーション上で実現するためのプラグイン・ソフトウェアです。本ソフ トウェアを使うためには、プラグイン (VST、Audio Units、RTAS<sup>®</sup>) に対応したホストアプリケーション内でプラグインを起動する必要が あります。

- 本ソフトウェアをお使いの際は、Intel<sup>®</sup> Core™ 1.4 GHz 以上の CPU を搭載したコンピューターの使用をおすすめします。
- ホストアプリケーションが安定して動作するコンピューターをお 使いください。
- ホストアプリケーションの動作要件は、お使いのホストアプリケーションの取扱説明書、またはウェブサイトでご確認ください。

## RMX-500 Plug-in の最新情報を確認する

最新版の RMX-500 Plug-in 情報は、下記の Pioneer DJ サポートサ イトを参照してください。 http://pioneerdj.com/support/

- 本ソフトウェアのインストールを途中で中止したときは、以下の手順に沿ってはじめからインストールをやり直してください。
- 本ソフトウェアをインストールする前に「ソフトウェア使用許諾契約書」をよくお読みください。
- 本ソフトウェアをインストールする前に、コンピューター上で他に 作業中のプログラムがあればすべて終了させてください。
- 本ソフトウェアは以下の OS に対応しています。

対応 OS			
Windows	Windows <sup>®</sup> O (Mindows <sup>®</sup> O Dro	32 ビット版	0
		64 ビット版	0
	Windows <sup>®</sup> 7 Home Premium/	32 ビット版	0
	Professional/Ultimate (SP1 以降 )	64 ビット版	0
	Windows Vista <sup>®</sup> Home Basic/	32 ビット版	0
	Home Premium/Business/ Ultimate (SP2以降)	64 ビット版	0
Intel Mac	Mac OS X 10.8	64 ビット版	0
	Mag 05 X 10 7	32 ビット版	0
	Mac 03 X 10.7	64 ビット版	0
	Mac OS X 10.6	32 ビット版	0
		64 ビット版	0

 1 台のコンピューターに RMX-500 を複数台接続したときは、動作を保証で きません。

## 

本ソフトウェアをインストールする前に「インストールについてのご注 意」をよくお読みください。

 本ソフトウェアをインストール、アンインストールするには、コン ピューターの管理者権限が必要です。 コンピューターの管理者に設定されているユーザーでログインし てからインストールしてください。

1 Pioneer DJ サポートサイトで [RMX-500] の [ソフト ウェアダウンロード] をクリックする

## 2 [RMX-500 Plug-in] をクリックする

3 ダウンロードページの中から Windows 用の RMX-500 Plug-in、または Mac OS X 用の RMX-500 Plug-in をダ ウンロードする

**4 ダウンロードしたファイルをダブルクリックする** RMX-500 Plug-in のインストール画面が表示されます。

5 言語選択画面が表示されたら、[日本語]を選んでから [OK]をクリックする

 お客様のコンピューターの環境によっては、複数の言語から表示言 語を選べます。

6 使用許諾契約画面が表示されたら、「ソフトウェア使用許 諾契約書」をよく読み、「ソフトウェア使用許諾契約書」に 同意するときは、[同意します]をクリックする

- 「ソフトウェア使用許諾契約書」に同意いただけないときは、[同意 しません]をクリックして、インストールを中止してください。
- 7 画面の指示に従って本ソフトウェアをインストールする
- インストールを途中で中止するときは[キャンセル]をクリックしてください。
- Windows の場合、VST プラグインのインストール先はお使いのホ ストアプリケーションの VST プラグイン格納フォルダーを指定し てください。
- プラグインは、デフォルトのままインストールすると、以下のフォ ルダーに格納されます。
  - Mac OS X
    - VST:/Library/Audio/Plug-Ins/VST/

AU:/Library/Audio/Plug-Ins/Components/

RTAS:/Library/Application Support/Digidesign/ Plug-Ins/

- Windows 32bit 版
  VST:\Program Files\Pioneer\RMX-500 Plug-in
  RTAS:\Program Files\Common Files\Digidesign\DAE\
  Plug-Ins
- Windows 64bit版

VST:\Program Files (x86)\Pioneer\RMX-500 Plug-in RTAS:\Program Files (x86)\Common Files\Digidesign\ DAE\Plug-Ins

## 入力 / 出力端子に接続する

機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
 電源コードは、機器の接続がすべて終わってから接続してください。
 電源コード、AC アダプターおよび USB ケーブルは、必ず本製品に付属のものをお使いください。
 接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
 本機は AC アダプターまたは USB バスパワーで電源が供給されます。
 AC アダプターを接続しなくても、USB ケーブルで本機とコンピューターを接続するだけで使用できます。
 本機とコンピューターは付属の USB ケーブルで直接接続してください。

- USB ハブを経由せずに接続してください。
- 本機を接続するコンピューターは、AC 電源に接続してください。
- USB バスパワー動作時は、点灯しているボタンの輝度が暗くなります。
- USB バスパワーで動作させるとき、以下のような場合に動作しないことがあります。
  - コンピューター本体の USB 端子の電源供給能力が不足している。
  - コンピューターに他の USB 機器を接続している。
  - インピーダンスが 32 Ωより小さいヘッドホンを接続している。
  - [PHONES] 端子にモノラルジャックを接続している。
- 動作中に AC アダプターや USB ケーブルが抜けると、本機が再起動することがあります。

## 接続例

## ♦ DJ ミキサーの [MASTER OUT] 端子に接続するとき



## ♦ DJ コントローラーの [MASTER OUT] 端子に接続するとき



## ♦ DJ ミキサーの [SEND] 端子および [RETURN] 端子に接続するとき



☆ コンピューターと接続して、サウンドカード /USB オーディオインターフェースとして使用するとき



♦ RMX-500 Plug-in アプリケーションをインストールしたコンピューターと接続して、プラグインコントローラーとして使用するとき

本機は RMX-500 Plug-in アプリケーションを検出すると、プラグインコントローラーモードで動作します。その場合、本機でのエフェクト処理 はしません。



Ja (7)

## 

本機は RMX-500 Plug-in アプリケーションを検出すると、プラグインコントローラーモードで動作します。その場合、本機でのエフェクト処理 はしません。



## 1 コードフック

- -AC アダプターの電源コードを引っ掛けて使います。
- 再生中にACアダプターの電源コードが本体から抜けると音声 が途切れます。

#### コードフックの使い方

AC アダプターの電源コードは、コードフックに引っ掛けることで固定 されます。電源コードを誤って引っ張り、プラグが端子から抜けてしま うことを防げます。

下図のように電源コードの先端部分を本機側面の端まで伸ばし、電源コードをコードフックに引っ掛ける



② 電源コードの先端をいったん手前に向け、図のように輪を作るよう にして向きを反転させ、本機の[5V DC]端子に差し込む



## 2 ケンジントンロック装着用穴

#### 3 5V DC 端子

付属の AC アダプターの DC プラグと接続します。電源コードは、 機器の接続がすべて終わってから接続してください。 電源コードと AC アダプターは必ず本製品に付属のものをお使いく ださい。

## 4 USB 端子

- コンピューターと接続します。
- 本機とコンピューターは付属のUSBケーブルで直接接続して ください。
- USB ハブは使えません。

5 ON, STANDBY スイッチ 本機の電源をオン / スタンバイにします。

## ⚠ 注意

製品の仕様により、本体部やリモコン(付属の場合)のスイッチを操 作することで表示部がすべて消えた状態となり、電源プラグをコンセ ントから抜いた状態と変わらなく見える場合がありますが、電源の供 給は停止していません。製品を電源から完全に遮断するためには、電 源プラグ(遮断装置)をコンセントから抜く必要があります。製品は コンセントの近くで、電源プラグ(遮断装置)に簡単に手が届くよう に設置し、旅行などで長期間ご使用にならないときは電源プラグをコ ンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

## 6 INPUT 端子

DJ ミキサー、DJ コントローラー、または DJ プレーヤーなどの外 部出力端子と接続します。

## 7 SIGNAL LEVEL スイッチ

本機の入出力ゲインを切り換えます。

- 本機に接続している機器に合わせて以下のように設定します。
- [+4 dB]: DJ ミキサーの [MASTER OUT] 端子と接続するときに 選びます。
- [+0 dB] :DJ ミキサーの [MASTER OUT] 端子、または DJ コントローラーの [MASTER OUT] 端子と接続するときに選びます。
- [-10 dB] :DJ ミキサーの [SEND] 端子および [RETURN] 端子と

#### 接続するときに選びます。 **8 OUTPUT 端子**

パワードスピーカーやDJミキサーなどの外部入力端子と接続します。

## ⚠注意

ー 吉声信号の流れがループしないように機器どうしを接続してくださ い。ループ接続した場合、回路が発振を起こしスピーカーなどを破損 する恐れがあます。

ループ接続の禁止例

- DJミキサーの出力を本機の入力端子へ接続し、本機の出力を同じDJミキサーの入力端子へ入力する。
- DJ ミキサーの [SEND] 端子の出力を本機の入力端子へ接続し、本 機の出力を同じ DJ ミキサーの [RETURN] 端子以外の入力端子へ 入力する。

## 9 PHONES 端子

#### ヘッドホンを接続します。

インピーダンスが 32 Ω以上のヘッドホンを接続してください。インピーダンスが 32 Ωより小さいヘッドホンには対応していません。

## 🔟 HEADPHONES VOL ツマミ

[PHONES] 端子から出力される音声レベルを調整します。

Ja

## 本機を起動し準備する

1 6ページの「入力/出力端子に接続する」に沿って 接続する

2 本機背面の [ON, STANDBY] スイッチを [ON] の位置に スライドさせる



## 3 入出力される音声レベルをピークレベルインジケーター で確認する

入出力される音声レベルによって、ピークレベルインジケーターの輝度 と色が変化します。



- 1 INPUT ピークレベルインジケータ
- 2 OUTPUT ピークレベルインジケーター
  - 緑色:許容レベル オレンジ色:適正レベル 赤色:過大レベル
- 赤色に点灯している場合は、入力される音声レベルが大きすぎます。[SIGNAL LEVEL] スイッチを切り換える、または接続している
- 9。[SIGNAL LEVEL] スイッチを切り換える、よたは接続している 機器の出力レベルを下げてください。 ・本機には入出力音声レベルを調整する機能はありません。入出力音
- 本機には人口力盲声レベルを調整する検能はのりません。人口力盲 声レベルを調整するときは、本機に接続されている機器を操作して ください。

## 本機とコンピューターを接続する

## 1 本機とコンピューターを USB ケーブルで接続する

本機はASIO 規格に準拠したオーディオデバイスとしての機能を備えています。

- USB2.0 に対応していないコンピューターでは動作しません。
- DJアプリケーションによってコンピューターの推奨動作環境が異なります。お使いの DJアプリケーションの推奨動作環境を必ずご確認ください。
- 他のUSBオーディオデバイスと同時にコンピューターに接続すると、正常に動作および認識されないことがあります。
- コンピューターと本機だけを接続することをお勧めします。
- コンピューターと接続するときは、本機の USB 端子に直接接続することをお勧めします。

## 2 [ON, STANDBY] スイッチをオンにする

本機の電源をオンにします。

## 設定ユーティリティについて

設定ユーティリティを使って以下の内容を確認および設定できます。 — 本機のヘッドホン出力ソースを設定する

- マスター音量と [HEADPHONES VOL] ツマミの連動を設定する
- 本機の MIDI 出力のオン / オフと MIDI チャンネルの設定をする
- バッファサイズを調整する (Windows ASIO 使用時)
- ― ドライバソフトウェアのバージョンを確認する

#### 設定ユーティリティを表示する

#### Windows 8 のとき

[スタート] 画面 >[RMX-500 設定ユーティリティ] をクリックする

#### Windows 8 以外の Windows のとき

[スタート]メニュー>[すべてのプログラム]>[Pioneer]>[RMX-500]>[RMX-500 設定ユーティリティ]をクリックする

#### Mac OS X のとき

[Macintosh HD] アイコン>[Application]>[Pioneer]>[RMX-500]>[RMX-500 設定ユーティリティ] をクリックする

## 本機のヘッドホン出力ソースを設定する

あらかじめ設定ユーティリティを表示してください。

#### [HEADPHONES] タブをクリックする

本機をオーディオデバイスとして使っているとき、[PHONES] 端子からの出力音として、本機からコンピューターへの音声データ出力、またはコンピューターから本機への音声データ入力のいずれかを設定します。 工場出荷時は、コンピューターから本機への音声データ入力に設定されています。

## マスター音量と [HEADPHONES VOL] ツマミの 連動を設定する

あらかじめ設定ユーティリティを表示してください。

## [MASTER] タブをクリックする

[HEADPHONES VOL] ツマミに、マスター音量が連動するか、または連 動しないかを設定します。

工場出荷時は、連動しないに設定されています。

## ------本機の MIDI 出力のオン / オフと MIDI チャン ネルの設定をする

あらかじめ設定ユーティリティを表示してください。

[MIDI] タブをクリックする

#### MIDI CHANNEL

- 本機の MIDI チャンネルを設定します。 MIDI OUTPUT
- 本機からコンピューターへの MIDI 出力を有効にするか、または無 効にするかを設定します。 工程出荷時は、無効の設定にされています。

工場出荷時は、無効の設定にされています。

## バッファサイズを調整する (Windows ASIO使用時)

本機を既定のオーディオデバイスとして使っているアプリケーション が起動しているときは、そのアプリケーションを終了させてからバッ ファサイズを調整してください。

あらかじめ設定ユーティリティを表示してください。

#### [ASIO] タブをクリックする

 バッファサイズを大きくすると、音声データの脱落(音とぎれ)な どが生じにくくなりますが、音声データの伝送遅延(レイテンシー) によるタイムラグが増大します。

## ドライバソフトウェアのバージョンを確認する

あらかじめ設定ユーティリティを表示してください。

[About] タブをクリックする

## ◆ ドライバソフトウェアの最新情報を確認する

最新版のドライバソフトウェア情報は、下記の Pioneer DJ サポート サイトを参照してください。

http://pioneerdj.com/support/

 1台のコンピューターに本機を複数台接続したときは、動作を保証 できません。

# 操作する



- [] [BPM を設定する] (10 ページ)
- 2 [RHYTHM FX セクション] (11 ページ)
- ③ [SCENE FX セクション] (12 ページ)
- ④ 「RELEASE FX セクション」(13ページ)
- 5「音声信号の経路を切り換える」(13ページ)
- ⑥「エフェクトのパラメーターをカスタマイズする」(13ページ)

## BPM を設定する



## 🚺 AUTO ボタン

BPM の測定モードを切り換えます。

- [AUTO]: 入力されている音声信号から BPM を自動測定します。
  本機の電源をオンにしたときは、[AUTO] に設定されます。
- [TAP]: [TAP] ボタンを指でたたいて BPM を手動で入力します。
- [AUTO]のBPM測定範囲はBPM=70~180です。曲によっては正しく測定できないことがあります。BPMを測定できないときは表示部のBPM値が点滅します。そのときは[TAP]ボタンを使って手動で入力してください。

## 2 BPM 表示部

BPM 測定モードがオートモードのときは、自動で検出した BPM 値を表示します。検出できないときは前回検出した BPM 値を表示 して点滅します。

BPM 測定モードが手動入力モードのときは、手動で入力した BPM 値を表示します。

#### 3 TAP ボタン

ボタンを指でたたいて手動で BPM を入力します。

#### 4 NUDGE (+, -) ボタン

内蔵音源の発音タイミングなどの周期およびタイミングを微調整 します。

## BPM を手動で入力する

## 再生中の音声の拍 (4分音符 ) に合わせて [TAP] ボタンを2 回以上指でたたく

[TAP] ボタンを指でたたいた間隔が BPM に設定されます。

- [TAP] ボタンを押しながら [NUDGE (+, -)] ボタンを押すと BPM を 〕単位で手動設定できます。
- [TAP] ボタンを押しながら [AUTO] ボタンを押し、2 つのボタンを 押しながら [NUDGE (+, -)] ボタンを押すと BPM を 0.1 単位で手動 設定できます。

10 ) Ja

## RHYTHM FX セクション



#### RHYTHM FX ボタン

RHYTHM FX をオン / オフします。

## 2 RHYTHM FX インジケーター

エフェクトがオンのとき点滅します。

#### 3 RHYTHM FX ツマミ

選択された RHYTHM FX の効果を調整します。

#### 4 DELETE ボタン

4-BEAT SEQUENCER 機能で記録した [RHYTHM FX] ボタンの操作をボタン単位で削除することができます。

## 5 内蔵音源音量調整ボタン

本機の内蔵音源の音量を調整します。

#### 6 EXIT ボタン

4-BEAT SEQUENCER 機能がオンのとき点灯します。 ボタンを押すと 4-BEAT SEQUENCER 機能をオフにします。

#### 🛛 OVERDUB ボタン

4-BEAT SEQUENCER 機能をオンにします。 [RHYTHM FX] ボタンの操作を記録して、ループ再生します。

## RHYTHM FX を使う

## 1 [RHYTHM FX] ボタンのいずれかを押す

RHYTHM FX のエフェクトの種類を選びます。 押したボタンが点滅します。

- [KICK] ボタン、[SNARE] ボタン、[CLAP] ボタン、[HI HAT] ボタン、 および [CYMBAL] ボタンには、それぞれ内蔵音源がプリセットされ ています。
- エフェクトの種類について詳しくは、下記の Pioneer DJ サポート サイトを参照してください。 http://pioneerdj.com/support/

## 2 [RHYTHM FX] ツマミを回す

音声にエフェクトがかかります。

- 右に回すとエフェクトの効果が大きくなります。右に回しきる と効果が最大になります。
- 一 左に回すとエフェクトの効果が小さくなります。左に回しきる と効果がかからず原音が出力されます。

## 3 [RHYTHM FX] ツマミを押す

選んでいるエフェクトの種類に応じて「音加工」効果や「音追加」効果 が加わります。

- ツマミを押し込む強さに連動して、「音加工」効果や「音追加」効果 が変化します。
- 選んでいる [RHYTHM FX] ボタンをもう一度押すとエフェクトがオ フになります。

#### ------4-BEAT SEQUENCER 機能を使う

[RHYTHM FX] ボタンが押された順番とタイミングを記録して、ループ 再生します。

#### 1 [OVERDUB] ボタンを押す

[OVERDUB] を押すと、4-BEAT SEQUENCER 機能がオンになり、 [OVERDUB] ボタンが明るく点滅します。

[OVERDUB] ボタンが明るく点滅しているときは、[RHYTHM FX] ボタンの操作を記録し、ループ再生を続けます。

さらに [OVERDUB] ボタンを押すとボタンが暗く点滅し、[RHYTHM FX] ボタンの操作を追加記録することなくループ再生を続けます。

 4-BEAT SEQUENCER 機能がオンのときは、[RHYTHM FX] ボタ ンを押し続けている間だけ RHYTHM FX の効果があります。

#### 2 [DELETE] ボタンを押しながら操作の記録を削除したい [RHYTHM FX] ボタンを押す

[DELETE] ボタンを押すと、操作が記録されている [RHYTHM FX] ボタンが点灯します。点灯したボタンを押すとボタンが消灯し、記録されていた [RHYTHM FX] ボタンの操作が削除されます。

#### 3 [EXIT] ボタンを押す

[EXIT] ボタンを押すと、4-BEAT SEQUENCER 機能によって記録されていた [RHYTHM FX] ボタンの操作がすべて削除されます。4-BEAT SEQUENCER 機能がオフになり、ループ再生を停止します。

## SCENE FX セクション



#### 1 SCENE FX ツマミ

選択された SCENE FX の効果を調整します。

## 2 SCENE FX インジケーター

エフェクトがオンのとき点滅します。

3 SCENE FX ボタン SCENE FX をオン / オフします。

#### 4 NOISE 音量調節ボタン

入力音声または出力音声に追加する [NOISE] エフェクトの音量を調整します。

- 5 ECHO + ビートセレクトインジケーター ECHO + が同期する拍のインジケーターが点灯します。
- BEAT (▲, ▼) ボタン
  ECHO + を同期させる拍の倍率を選びます。
- 7 ECHO + ボタン ECHO + 機能をオン / オフします。

## SCENE FX を使う

#### 1 [SCENE FX] ボタンのいずれかを押す

SCENE FX のエフェクトの種類を選びます。

押したボタンが点滅します。

 エフェクトの種類について詳しくは、下記の Pioneer DJ サポート サイトを参照してください。 http://pioneerdj.com/support/

#### 2 [SCENE FX] ツマミを回す

音声にエフェクトがかかります。

- 一 右に回すとエフェクトの効果が大きくなります。右に回しきる と効果が最大になります。
- 一 左に回すとエフェクトの効果が小さくなります。左に回しきる と効果がかからず原音が出力されます。

## 3 [SCENE FX] ツマミを押す

音声に追加効果がかかります。

- ツマミを押し込む強さに連動して、追加効果が変化します。
- 選んでいる [SCENE FX] ボタンをもう一度押すとエフェクトがオフ になります。

#### ------ECHO + を使う

SCENE FX のエフェクトに [**ECHO**] エフェクトを重ねて出力すること ができます。

## 1 [BEAT (▲, ▼)] ボタンを押して、[ECHO] エフェクトを 同期させる拍の倍率を選ぶ

## 2 [ECHO +] ボタンを押す

ECHO + 機能をオンにします。 選んだエフェクトに [ECHO] エフェクトが重なって出力されます。 ・ もう一度 [ECHO +] ボタンを押すと、ECHO + 機能がオフになります。

## RELEASE FX セクション



## I RELEASE FX 種類選択ボタン

RELEASE FX の種類を切り換えます。

2 RELEASE FX ボタン

RELEASE FX をオン / オフします。

## RELEASE FX を使う

## 1 [RELEASE FX] 種類選択ボタンを押す

RELEASE FX のエフェクトの種類を選びます。

 エフェクトの種類について詳しくは、下記の Pioneer DJ サポート サイトを参照してください。 http://pioneerdi.com/support/

## 2 [RELEASE FX] ボタンを押す

エフェクトをオンにします。

音声にエフェクトがかかります。

 ボタンから指を放すとエフェクトがオフになります。それまでオン になっていた RHYTHM FX および SCENE FX もオフになります。

## 音声信号の経路を切り換える

本機の [INPUT] 端子に入力された音声信号は、本機内部のエフェクト回路を通過したあと、本機の [OUTPUT] 端子から出力されます。 本機のエフェクト回路には、先頭から順に RHYTHM FX セクション、 SCENE FX セクション、および RELEASE FX セクションの 3 つのエ フェクトセクションがあります。

3 つのエフェクトセクションのうち、RHYTHM FX セクションと SCENE FX セクションの順序を入れ換えることができます。



#### [SIGNAL FLOW] ボタン (1) を押す

ボタンを押すたびに音声信号の経路が下図のように切り換わります。 — 右のインジケーター (2) が点灯しているとき

	SCENE FX	
• SCENE FX		
— 左のインジケーター	(3) が点灯しているとき	
INPUT • RHYTHM FX	SCENE FX RHYTHM FX C	OUTPUT

## エフェクトのパラメーターをカスタマイ ズする

[CUSTOMIZE SHIFT]ボタンを使って、本機のエフェクトのパラメー ターをカスタマイズすることができます。 カスタマイズしたパラメーターは即座に本機の動作に反映されます。 操作する



#### [CUSTOMIZE SHIFT] ボタン (11) を押しながらカスタマイ ズしたいエフェクトのボタンを押す

各エフェクトの種類や拍が切り換わります。

- [CUSTOMIZE SHIFT]ボタンを押している間だけ、エフェクトの種類 や拍をカスタマイズすることができます。
- 消灯しているボタンはカスタマイズできません。
- RELEASE FX は [RELEASE FX] ボタンを押すたびに選択されているエフェクトの拍が切り換わります。

## アップデート機能を使う

- アップデート中は本機の電源をオフしないでください。
- 1 本機とコンピューターを USB ケーブルで接続する

## 2 [RELEASE FX] ボタンと [TAP] ボタンを押しながら電源 をオンにする

本機をアップデートモードで起動します。

#### 3 アップデートソフトウェアを実行する

アップデートソフトウェアは、下記の Pioneer DJ サポートサイトか らダウンロードしてください。 http://pioneerdj.com/support/

アップデート完了を知らせるダイアログボックスが、コンピューターに 表示されたら、アップデート完了です。

## 4 いったん本機の電源をオフにしてからふたたびオンにす る

アップデートされた状態で本機が起動します。

アップデート時にエラーが発生したときは、エラー内容が BPM 表示部に表示されます。

## RMX-500 Plug-in を使う

RMX-500 Plug-in をセッティングする

## ☆ ホストアプリケーションで RMX-500 Plug-in を起動 する

プラグインの起動方法に関しては、ホストアプリケーションの取扱説明 書を参照してください。

## RMX-500 Plug-in を操作する

本ソフトウェアの操作方法を説明します。本ソフトウェアは基本的に、 RMX-500本体と同様の動作をします。本項では本ソフトウェア特有 の機能を中心に説明します。

- - - - - -

#### ♦ RMX-500 Plug-in 表示画面



#### Settings ボタン

本ソフトウェアの設定画面を開きます。

クレジット表記

本ソフトウェアの商標およびバージョンなどを表示します。

#### 2 Link ボタン

RMX-500 本体から操作できる状態にします。詳しくは「RMX-500 本体と接続して操作する」をご覧ください。

## \* RMX-500 本体と接続して操作する

RMX-500 本体で本ソフトウェアを操作できます。

1 RMX-500 本体とコンピューターを USB ケーブルで接 続し、本ソフトウェアの [Link] ボタンが、白色に点灯して いるか確認する

2 本ソフトウェアの [Link] ボタンが白色になっているときは、「Link] ボタンを押して青色にする

- 本ソフトウェアは、複数同時に起動できます。複数同時に起動しているときは、そのうちひとつだけ [Link] ボタンが青色になり、RMX-500本体から操作できます。それ以外は、自動的に [Link] ボタンが白色になり、操作できません。
- RMX-500 を接続せずに、本ソフトウェア単体でエフェクトをかけ ることもできます。

# その他

## 故障かな?と思ったら

- 故障かな?と思ったら、下記の項目および Pioneer DJ サポートサイトへアクセスして、[RMX-500]の[よくある質問]を確認してください。 http://pioneerdj.com/support/
- また、本機と接続している機器もあわせて確認してください。それでも正常に動作しないときは、15 ページの「保証とアフターサービス」を お読みのうえ、販売店にお問い合わせください。
- 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、電源コードを一度抜いて差し込み直すことで 正常に動作することがあります。

こんなときは	ここを確認してください	対応の仕方
電源が入らない。	付属の電源コードと AC アダプターが正しく接続 されていますか?	付属の電源コードをコンセントに正しく接続してください。 付属の AC アダプターに電源コードを正しく取り付けてください。 (6 ページ )
		 付属の AC アダプターの DC プラグを本機に正しく接続してください。
	電源の[ <b>ON, STANDBY</b> ]スイッチは[ <b>ON</b> ]になって いますか?	電源の [ON, STANDBY] スイッチを [ON] にしてください。
	USB バスパワーで電源供給している場合、付属 の USB ケーブルが正しく接続されていますか? USB ハブを使っていませんか?	付属の USB ケーブルを正しく接続してください。 (6 ページ )
音が出ない、または音が小さい。	接続ケーブルが正しく接続されていますか?	接続ケーブルを正しく接続してください。(6 ページ)
	端子やプラグが汚れていませんか?	端子やプラグの汚れを拭き取ってから接続してください。
	[INPUT] ピークレベルインジケーターが点灯して いますか?	接続している機器の出力レベルを調整してください。
音が歪む。	[INPUT] ピークレベルインジケーターまたは [OUTPUT] ピークレベルインジケーターが赤色に 点灯していませんか?	接続している機器の出力レベルに合わせて、[SIGNAL LEVEL] 切換スイッチを切 り換えてください。 (8 ページ )
		接続している機器の出力レベルを調整してください。
テンポ (BPM) が測定できない、または テンポ (BPM) の測定値がおかしい。	音声入力レベルが高すぎませんか? または音声 入力レベルが低すぎませんか?	[INPUT] ピークレベルインジケーターが適切なレベルになるように、接続機器の出力レベルを調整し、接続している機器の出力レベルに合わせて [SIGNAL LEVEL] 切換スイッチを切り換えてください。
		曲によってはテンポ (BPM) が測定できない場合があります。[TAP] ボタンを 使って手動でテンポを入力してください。(10 ページ)
カスタマイズした内容が記録されない。	カスタマイズしたあと、すぐに電源をオフにして いませんか?	カスタマイズしたあとは、10秒以上経過してから電源をオフにしてください。
測定したテンポ (BPM) の値が CD の 記載値と異なる。または、DJ ブレー ヤー、DJ ミキサー、DJ ソフトウェ アおよび本機に表示されるテンポ (BPM) の値がそれぞれ異なる。	_	BPM の測定法が違うため、多少異なった値を示すことがあります。
コンピューターに接続しても本機が 認識されない。	付属の USB ケーブルが正しく接続されていますか?	USB ハブを経由せずに、本機とコンピューターを直接接続してください。

## 保証とアフターサービス

## 修理に関するご質問、ご相談

「取扱説明書(基礎編)」の巻末に記載の修理受付窓口、またはお買い求めの販売店にご相談ください。

## 保証書(取扱説明書(基礎編)に記載)

保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。

保証期間は購入日から 1 年間です。

## 補修用性能部品の最低保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 修理を依頼されるとき

本書の15ページの「故障かな?と思ったら」をお読みいただき、故障かどうかをご確認ください。それでも正常に動作しないときは、必ず電源プラグを抜いてから、次の要領で修理を依頼してください。

## 連絡していただきたい内容

- ご住所
- お名前
- お電話番号
  制日夕・DD
- 製品名: REMIX STATION
- 型番:RMX-500
- お買い上げ日
  故障または異常の内容
  「いつーどのくらいの頻度で、どのような場合で、!
- 「いつ、どのくらいの頻度で、どのような操作で、どうなる」といっ た詳細

#### -----保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書に記載されてい る弊社保証規定に基づき修理いたします。

## 保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

その市

## 商標および登録商標について

- Pioneer はパイオニア株式会社の登録商標です。
- Microsoft, Windows および Windows Vistaは、米国Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商 標です。
- Apple、Mac および Mac OS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。
- Intel および Intel Core は、米国および / またはその他の国における Intel Corporationの商標です。
- VST は Steinberg Media Technologies GmbH の商標です。
- Audio Units ロゴは Apple Inc. の商標です。
- RTAS は、Avid Technology, Inc. およびその子会社、関連会社の 米国およびその他の国における登録商標です。

その他記載されている会社名および製品名等は、各社の登録商標または 商標です。

## 著作権についてのご注意

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、 権利者に無断で使用できません。

- CDなどから録音される音楽は、各国の著作権法ならびに国際条約 で保護されています。また、録音した者自身が、それを合法的に使 用するうえでのすべての責任を負います。
- インターネットなどからダウンロードされる音楽を取り扱う際は、
  ダウンロードした者自身が、ダウンロードサイトとの契約に則って
  それを使用するうえでのすべての責任を負います。

## 免責事項

お客様がダウンロードソフトウェアを使用するにあたっての合法性や 道徳性、動作の確実性などについて当社としては責任を負いかねますの であらかじめご了承ください。お客様がお使いになっているコンピュー ターおよびダウンロードソフトウェアの動作環境、他のソフトウェアと の組み合わせによっては、ダウンロードソフトウェアの動作に不具合が 発生することがあります。

万一、お客様がダウンロードソフトウェアを使用して登録した情報が消 失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、 あらかじめご了承ください。お客様が登録した内容は、別にメモを取る などして保管してください。

- 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- © 2014 パイオニア株式会社 禁無断転載

## パイオニア株式会社

〒212-0031 神奈川県川崎市幸区新小倉1番1号 <DRJ1024-B>

